

乳房再建、眼瞼下垂など多様な手術に対応
一人ひとりの要望に合わせ、きめ細かに診療します

体表面のケガや顔の骨折をはじめ、皮膚および皮下の腫瘍、腫瘍切除後の再建、体のさまざまな部位の傷痕や引きつれ、変形といった幅広い治療に対応しています。

近年は乳がんの増加に伴った乳房再建手術の件数が増加しているほか、老化による眼瞼下垂の手術も数多く手掛けています。

とりわけ顔面は手術の仕上がりが顔全体の印象を大きく左右するだけに、繊細かつ高度な技術力のもと、患者さま一人ひとりの要望をくみ取るべく、決め細かな診療を実践しています。外科的手技、レーザー治療など多彩なアプローチで、先天異常の他、病気、事故、老化など広く、後天な変形についても、形態・機能の改善を図っていきます。

乳幼児の場合など特殊な診療や治療が必要な場合も、適切と思われる大学病院などに紹介しますので、まずは当科にご相談下さい。

形成外科で取り扱う主な疾患

- 交通事故・労働時の事故などによる外傷（特に顔面・手指）
- 体表面の腫瘍（良性・悪性の皮膚・皮下腫瘍、あざなど）
- 先天異常（耳介変形、口唇裂、多指・合指症など）
- 皮膚潰瘍（難治性潰瘍）
- 熱傷（やけど）、熱傷後の瘢痕、ケロイド、瘢痕拘縮（傷のひきつれ）
- 腫瘍切除後の欠損組織の再建（乳がん、頭頸部癌などの切除術後）
- 整容的な治療（あざ、わきが、顔面などの小腫瘍、きずあと、ケロイド、眼瞼の修正など）も保険診療内で行っております。

担当医師紹介



部長
丹生 淳史
(にう あつし)

形成外科専門医
日本形成外科学会会員
日本美容医療協会会員
乳房再建施設代表責任医師
医学博士



医長
浅井 智之
(あさい ともゆき)

形成外科専門医
乳房再建用エキスパンダー / イン
プラント実施医師
日本形成外科学会会員
日本麻酔科学会認定医

診療体制

- ・ 外来診療は月～金の午前中
- ・ 月、水、金の午後は予約再診があります。